

按摩療法のエビデンス構築： 視覚に障害のあるマッサージ師の職域拡大を視野に入れて

殿山 希

筑波技術大学 保健科学部 保健学科 鍼灸学専攻

キーワード：按摩マッサージ、がんサバイバー、パーキンソン病、職域開拓

1. 成果の概要

按摩マッサージ療法の臨床的効果の検討を目的に、平成 22 年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究 C(22 ～ 26 年度)『按摩マッサージ療法のエビデンスに基づいた職域の開拓：緩和ケアチームへの参入』の流れの中で、がんサバイバー（がんを発症して医学的標準治療を行った後、3 年を経過したが再発していないがん生存者）やパーキンソン病患者に対して按摩マッサージ療法の有効性を検討している。平成 25 年度も臨床研究を継続した。

1.1 がんサバイバーに対する継続的按摩療法の有効性の検証

1.1.1 背景

2025 ～ 29 年の日本のがん将来予測では、がん死亡数・罹患数ともに男性では 2015 年以降増加傾向は緩やかとなるが、女性はそれまでと同様の割合で増加し続ける。[1] 女性では、罹患数の増加の大きな部位としては、口腔・咽頭、腎・尿路、子宮体部、肺、すい臓、子宮頸部のがんの増加が続くことが予想された。[1] 一方、早期発見とがんの治療の進歩が近年がん患者の予後を改善したことで、がん有病数の増加は明白であり、社会におけるがん治療、ケアのあり方を再検討する必要性が生じている。[1]

がんサバイバーは、治療終了後も再発や死への不安を恒常的に抱えており、心身ともに非常にストレスフルな状況にあることが知られている。[2-4] また、女性では、乳房、子宮、甲状腺、卵巣がんで若年の有病数が多く、[1] がんとともに生きる時間が長いことから、特に心身のケアが必要であると考えられる。

按摩マッサージ治療は施術者と患者が 1 対 1 で長い施術時間を共有する＝患者の心身に向き合うという特徴がある。施術者の技術を通して、身体的な改善に貢献することは基より、施術者との時間から患者の「気づき」があり、精神・心理面での効果が期待される。また、これらの心身の改善

から健康関連 QOL を高めることが考えられる。

そこで、婦人科がん克服後のがんサバイバーを対象に按摩マッサージ療法の有効性の検証を目的に平成 24 年 10 月より 2 年間の研究期間を設けてランダム化比較試験を実施している。

予備研究から算出した必要対象数が平成 21 年の科研費申請時より増えたこと、さまざまな関連先行研究を検討した結果、指標とすべき項目が増え、その解析等に係る費用を求めて競争的経費を申請した。

1.1.2 研究の進捗状況

他施設共同研究者から患者紹介後、本学にてインフォームドコンセントを行い、登録後は速やかに按摩継続群、あるいは、コントロール群に割り付け、随時試験を実施している。

平成 25 年 3 月 31 日現在の登録被験者数は 29 名（うち、9 名は前年度登録）を数える。現在、26 名が試験を終了、3 名が年度をまたいで試験中である。

1.1.3 成果発表

研究デザインを学会で発表した。

殿山希、佐藤豊実、濱野鉄太郎．がんサバイバーに対する継続的あん摩療法の効果に関する研究（2 アーム並行群間ランダム化比較試験）：試験デザイン．第 78 回日本温泉気候物理医学会．2013.5.24（大分県別府市）

また、デザインペーパーを作成して投稿した。

Donoyama N, Satoh T, Hamano T. Effects of Anma massage therapy (Japanese massage) for gynecological cancer survivors: study protocol for a randomized controlled trial. *Trials*. 2013 Jul 24;14:233. doi:10.1186/1745-6215-14-233.

<http://www.trialsjournal.com/content/14/1/233>

上記論文は、本学図書館リポジトリにも登録した。

<http://hdl.handle.net/10460/1181>

1.2 パーキンソン病患者の上肢機能・下肢機能・身体的 自覚症状への按摩マッサージ療法の効果の検討

1.2.1 実施内容と成果発表

平成 23・24 年度に大学院生とともにパーキンソン病患者に対して按摩マッサージを行い、データの集積を行った。平成 25 年度には、そのデータを用いて以下のことを行った。

①データクリーニングと統計解析のやり直し、論文作成。

Donoyama N, Suoh S, Ohkoshi N. Effectiveness of Anma massage therapy in alleviating physical symptoms in outpatients with Parkinson's disease: a before-after study. Complementary Therapies in Clinical Practice accepted on 29 Jul. 2014.

②学会発表：以下の学会発表を行った。

殿山希, 周防佐知江, 大越京夫. あん摩療法はパーキンソン病患者の身体的愁訴の軽減に有効. 第 78 回日本温泉気候物理医学会. 2013.5.24 (大分県別府市).

周防佐知江, 殿山希, 大越京夫. 老健施設パーキンソン病患者の肩関節可動域制限に対するあん摩療法の効果. 第 78 回日本温泉気候物理医学会. 2013.5.24 (大分県別府市).

Donoyama N, Suoh S, Ohkoshi N. Anma massage (Japanese massage) therapy for outpatients with Parkinson's disease: Effectiveness for various physical symptoms. XX World Congress on Parkinson's Disease and Related Disorders (Abstract Book. 2013:p73-74). 2013(Geneva, Switzerland).

Suoh S, Donoyama N, Ohkoshi N. Anma massage (Japanese massage) therapy for patients with Parkinson's disease in geriatric health services facilities: Effectiveness on limited range of motion of the shoulder joint. XX World Congress on Parkinson's Disease and Related Disorders (Abstract Book. 2013:p74). 2013(Geneva, Switzerland).

2. 成果の今後における教育研究上の活用及び予想される効果

医学の進歩と高齢社会の到来から、がんサバイバーもパーキンソン病患者とともに増加する可能性が高い。本研究を通して、これらの対象へのあん摩マッサージの医療的エビデンスが確立するならば、本学で高い学術を身に付けた視覚に障害のある有資格者に専門的ケアのスペシャリストとしての新たな道が開ける可能性が考えられる。

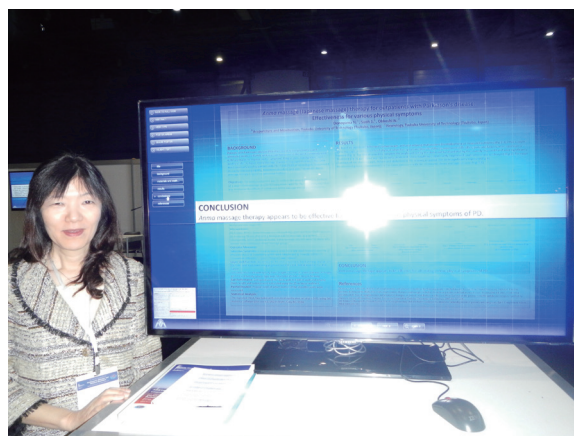


Fig.1 At XX World Congress of Parkinson's disease and Related Disorders in Geneva

参考文献

- [1] 国立がん研究センターがん対策情報センター. 「がん・統計白書 2012 -データに基づくがん対策のために」. 東京, 篠原出版新社. 2012.
- [2] Baile WF, Palmer JL, Bruera E, Parker PA. Assessment of palliative care cancer patients' most important concerns. Support Care Cancer 2010 Apr 17. DOI 10.1007/s00520-010-0839-4, Accessed Apr 22, 2010.
- [3] Kamibeppu K, Sato I, Honda M, et al. Mental health among young adult survivors of childhood cancer and their siblings including posttraumatic growth. J Cancer Surviv 2010 Apr 16. DOI 10.1007/s11764-010-0124-z, Accessed Apr 22, 2010
- [4] Seitz DC, Besier T, Debatin KM, et al.: Posttraumatic stress, depression and anxiety among adult long-term survivors of cancer in adolescence. Eur J Cancer 2010 Apr 8. DOI 10.1016/j.ejca.2010.03.001, Accessed Apr 22, 2010.